

2023 年度 第 2 回 研究倫理委員会 議事録

(文中敬称略)

日時：令和 5 年 5 月 10 日 (水) 17 時 30 分 ~19 時 00 分

参加者：筒井秀代

＜経営学部＞ 杉浦優子、日下部直美

＜リハビリテーション学部＞ 越智 亮、中谷直史、富山直輝、林尊弘

＜事務部＞ 小野木栄治、壽川浩子

欠席者：北野達也・室町律雄・藤田高史 (いずれも委任状あり)

◎第 1 回研究倫理委員会議事録が承認された。(資料 1)

審議事項

1. 通常審査 1 件

窪優太 (新規)

「施設入居高齢者の睡眠効率に対するアロマセラピーの検証効果」

＜審議結果＞ 要修正

2. 研究倫理審査の概要 (資料 2)

＜審議結果＞ 資料にもとづき説明がなされ、一部修正 (項目「4:『通常の倫理審査』と『迅速審査について』で「電子データをメールにて提出」と変更) のうへ承認された。なお、審査手続きとして、「研究倫理委員会事務局にメールで申請」とするため、新たに申請用のメールアドレスを設定することが提案され、承認された。

3. 重点課題と取り組み方針について (資料 3)

＜審議結果＞ 資料にもとづき説明がなされ、承認された。

4. 申請書類書式について (資料 4-1、4-2)

＜審議結果＞ 資料にもとづき、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の令和 4 年の改正等についての説明がなされ、承認された。

5. 今後の研究倫理講習のあり方について (資料 5)

＜審議結果＞ 継続検討。

現状、eA P R I N を全教員が毎年受講しているが、効力は 3 年間継続するため、毎年受講の必要性について審議。毎年受講を継続する代わりに、現在の全設問を 2 分割して 2 年で全設問を受講する案が出された。その他、受講しない年を定めた場合は、代わり

に講習会を実施することが必要となり、外部講師による講習会の案についても検討された。なお、外部講師への謝金等で科研費の間接費を充てることは可能かとの質問がなされた。

6. その他

学生に対し、教育目的で行ったアンケート調査を後から研究目的に使用したい場合、あとから当該学生に同意を得るのことは困難であるため、研究目的で使用する可能性がある場合は、あらかじめ研究倫理審査を受けておくほうが望ましいとの見解が示された。また、既に行ったアンケート調査を使う場合は、大学のホームページなどを使ったオプトアウトを行うことが確認された。

報告事項

1. 新規の許可証発行：2件（2022C0020、2023C0001）
2. 研究倫理審査一覧の掲載：大学ウェブサイトにて2023年3月承認分までが掲載済（一部未掲載）。2023年3月承認分の未掲載分および2023年4月承認分の掲載済
3. 議事録の掲載：大学ウェブサイトおよび倫理審査委員会報告システムにて2022年度第11回まで掲載済。2022年度第12回研究倫理委員会議事録および2023年度第1回研究倫理委員会議事録の掲載予定日：5月10日頃
4. 今年度の研究倫理講習の準備状況：6月下旬～7月上旬頃より実施可能
5. リハビリテーション学部卒業研究倫理審査：卒業研究 23OT06、23OT07、23OT09、23OT10、23PT04 が新規承認
6. 新年度の委員情報の更新：更新済
7. 今年度の委員会開催日程について：第3水曜日 17時～

次回申請締切：5月31日（水）17時00分まで

次回開催予定：倫理申請ありの場合：6月7日（水）17時30分～
倫理申請なしの場合：6月21日（水）17時～